

令和8年度第1回 久留米市学校給食運営審議会 会議録

1 開催日時

令和8年7月10日（金） 18時30分～19時30分

2 開催場所

久留米市庁舎3階 308会議室

3 出席者

（委員）

安倍会長、鶴副会長、梅木委員、廣重委員、児玉委員、緒方委員、
北村委員、今徳委員

（事務局）

平田教育部長、藤原教育部次長、中村部補佐
深田学校保健課長、小形学校給食共同調理場所長 ほか4名

4 傍聴者 なし

5 会議録

【副会長の選任】

鶴委員を選任

【議題】

（1）久留米市の学校給食の現状について

事務局より説明

（質疑応答・意見）

○委員 食材価格の上昇の中、食育のねらいと照らし合わせて、特色ある献立をいろいろ、よく工夫して考えてあると思う。かつてより工夫したりとか、献立が困難になっていたりなどの状況についてお尋ねしたい。

○委員 昨年度よりも、今年度が厳しい状況にあることは事実。去年は入っていた食材を外したり量を減らしたり、デザート類に関しても規格を小さくしたりと工夫をしているが、値上げ幅がとても大きく、限界を感じている。

○会長 食材も随分工夫して変えているようだが、栄養価関係はどうか。

○委員 中学校の給食センターの献立では、食材価格が上がった分、栄養価を満たすという点では昨年より正直厳しくなっている。

○会長 小学校のほうはどうか。

○委員 価格面で、魚を1人60グラムから50グラムに変更したりしているが、結果タンパク質とエネルギーが足りない状態になっている。また、合わせ出汁を使用することで、減塩を図りたいが、価格面でいりこだけになっている。チキンブイヨンも使うと高いので、ベーコンを入れて素材のうまみも生かしながら献立作成をしている。肉の量を減らしたりしているので、他の栄養価はそこまで下がっていないが、エネルギーとタンパク質に影響が大きい。

- 会長 苦勞されているようだ。保護者の委員はどうか。
- 委員 メニュー面では不満は出ていないが、子どもたちは栄養面はよくわかってない。美味しかった美味しくなかったという単純な点になる。活発な時期なので、エネルギーやタンパク質は重要だと思う。現在、共働きの保護者が大変多く、学校に通わせてる間、給食で栄養を取ってくれていると期待されていると思う。苦勞して作っていただいているが、子どもたちにはしっかり栄養をとってもらいたい。
- 会長 学校の現場の方から意見をいただけますか。
- 委員 工夫して作っていただいて、ありがとうございます。小学校のアンケートでは、子どもたちは給食がおいしいから学校が楽しいと書いている。満足でしかない。
- 会長 ありがとうございます。生産者からはいかがか。
- 委員 メニューの「地場産の日」に関連したところで質問したい。例えば玉ねぎを使う際、北海道産、他県産もある中で、価格的には地場産が安いのか。
- 事務局 基本的に、地場で揃うものは地場のものを購入するので、価格を比較して安い方を購入したりしていない。ただ、地場産だから大幅に高いということはない。
- 委員 葉物野菜を作っているが、昨年と一昨年を比べると、3割売り上げが減っている。一方、市場の末端価格は上がっている。輸送コストやパッケージ代、人件費が高騰しているが、農家の収入は減っている状況だ。地場産であれば、輸送コストが下がるので、価格を下げるできないかと考えたところだ。
- 事務局 給食で使っている野菜は、市場価格を基本にしている。特段、給食だから安くしてもらっていない。学校給食に使っている野菜の中で、特に葉物野菜の部分は、かなりの割合で久留米産になっているので、久留米市は地場産の野菜の使用率は高い方だと思っている。やはり農家の皆さんに頑張ってもらっているからだと思う。
- 会長 献立作成に苦勞されているが、新しい献立にチャレンジされてある。新しく献立に取り入れる過程はどうか。
- 委員 オリンピックやワールドカップの開催年は、開催国を意識してその国の料理を入れたりしている。7月にメキシコのタコスを出したり、6月にアメリカ料理でハンバーガーにして食べたりなど行事食にしている。また、年間計画を立てるときに郷土料理を入れているが、今まで使ったことのない食材を使ったりしている。1ヶ月分の献立を代表で1人の栄養士が考えているが、基本的に新献立を1つ以上入れるようにしており、ちょっとでも子供が楽しめるような、興味の持てるようなものを工夫して取り入れている。
- 会長 バリエティーに富んでおり、素晴らしい。続いて、3つ目の学校給食費から次の課題までの項目についてだが、先ほどの説明の中で、価格の上がり方について、主食・牛乳で令和6年に比べると小学校で560円、中学校で約760円近くになっている。中学校は小学校と比べて大変になっているのではないか。

- 委員 厳しいの一言につきる。今いろんな業者から、また10月にいろんな価格が上がるという情報がきている。正直、いろんな工夫をしながら献立作成をやっているが、子供たちに必要な栄養面では、結構厳しいので、検討をしていただきたいというのは正直ある。
- 委員 主食のところがやはり中学校は大きい。小学校は自校炊飯してるので、この主食のご飯は米代だけだが、中学校は委託炊飯をしているので米代プラス委託料がかかっている。そして、パンが週1回でご飯が週4回というふうに、週のご飯の回数が増えたことで、中学校の負担がさらに大きくなった。委託炊飯に係る費用に何か支援があれば、デザートは1個や2個ふやせると考える。
- 会長 委託炊飯から自校炊飯への切り替えは難しいのか。
- 事務局 中央給食センターをつくるとき、広さの関係で炊飯施設が作れなかった。通常の自校式も委託炊飯もどちらも含めて、本当にこの2年間は、特に米の影響は大きいと感じている。米は県の給食会を通じて、年間契約になっているため、補助金もあり価格を押さえてもらっているところではある。来年度がどれぐらい上がるのかは、牛乳も含めて年度末にならないとわからない。一度上がったものが下がるのは難しいと思う。
- 会長 米の価格が上がっているというのはわかった。
- 委員 牛乳は上がっているが、それを受けて、牛乳でなくてお茶にしたところがあると聞いた。
- 事務局 福岡市が、ご飯に牛乳が合わないのではないかという話の中で、お茶を試行的にやっているところ。正直な話、牛乳よりお茶の方が高い。
- 委員 お茶に変えたのは、価格の問題ではないのですね。
- 事務局 違う。実際やってみたところ、今の子供は緑茶を飲み慣れないから苦いと言って、お茶の飲み残しが多かった。しかも、やはり最初から心配していたが、カルシウムが足りなかったのも、小魚の小袋をつけたのだが、やはり足りなかったという話だ。値段の問題もあるが、牛乳をお茶に変える中でやっぱり一番はカルシウムが足りないという問題。それから考えると、久留米市として、お茶に変えるというのは今、考えていない。
- 委員 エネルギーも足りないのも、その点も考えないといけないだろう。
- 委員 私も反対だ。牛乳には給食につける目的がある。和食と一緒に食べるのが合わないのであれば、最初に飲むとか、後から飲むとか、飲むタイミングを変えればいいので、何でそれからお茶にするということになるのか。私もあれを見てびっくりした。
- 会長 お茶はかなり価格も高いようですね。他に、質問や意見はないか。
- 委員 資料15ページにサバは高くなったから、令和7年12月から使用しないとあるが、次のページに、価格が高い食材を低価格の食材へというところの魚の部分で、ぶりからサバに変更と書いてある、これはサバを使っていない状況で何を使ってあるのか。
- 委員 サバを使っていないわけではなく、国産や中国産の安いものになっている。味が違う。脂がついているノルウェー産の煮魚はふっくらしている。

ノルウェー産を使いたいと改めて思っている。

- 委員 国産の方が安いのか。
- 委員 国産は脂がのっていないくて、小ぶりで安い。価格はそれで下がるが、身は薄くて脂がのっていない。焼いた時が特に影響が大きくて、パサつきを感じた。
- 委員 自宅でも、ノルウェー産は子どもたちが大好きだったのに、安かったので違う国産か他のサバを焼いたら、身が薄くパサパサで、もう嫌だと言われ、親が全部食べた。
- 委員 ノルウェー産のサバは価格面で使っていない。やっぱりブリも、正月料理で本当はブリの照り焼きを出したいけど出せないの、^{さわら}鯖にしている。同じ出世魚なので、^{さわら}鯖に変えたりした。そういうことは多々ある。
- 会長 苦労がありますね。
- 委員 資料で、出汁・ブイヨンの量を減量したというところでびっくりした。出汁用昆布の0.3グラムを0にというところで、素材の味を十分生かしながらということだが、実際味はちょっと足りなく感じたりとかなないのか。検食で食べてみてどうか。
- 委員 チキンブイヨンを減らすときにはベーコンを入れたり、キャベツは煮込んだほうが甘みが出るので、長めに煮込んで甘みを出したり、調理面で工夫をしたり、食材の組み合わせを考えている。味には影響がいかないように工夫している。みそ汁もわかめが入ればうまみの他、塩気も余計に取れるので、食材を工夫して、味には影響が出ないようにしている。また、みそ汁にも豆乳を入れたり、牛乳を取り入れたりして、減塩でも美味しくしている。
- 委員 まさに減塩のことを聞こうかと思っていた。牛乳が高いので豆乳を入れているのか。
- 委員 アレルギーのこともある。牛乳だけじゃなくて豆乳を組み合わせることで、アレルギーの方にもちょっとでも栄養があっておいしいものを提供している。シチューも、豆乳と牛乳だったら豆乳までを入れてから、牛乳を入れる前に取り分けるなど工夫をしている。
- 会長 課題に関してはどうか。給付に関しては、まだ各自治体も検討しているところが多いようだが。
- 委員 いろんな事情があって給食を食べていない子供に対しての支援について、問い合わせや、そういった声は上がってきているか。
- 事務局 保護者の方や市議会議員から問い合わせや質問があっている。実際久留米市はまだ検討段階。他自治体からも久留米市はどうするのかという問い合わせがあっている。誰を対象にするのかの問題や、学校としてどういう対応ができるのかの問題がある。実際、福岡市はアレルギーだけを対象にしているが、日割り計算になっており、実際に食べなかった日を学校が数える必要がある。実際どの範囲にするのかを考える中で、学校の負担も考えながら、今後検討していかないとはいけない。

(2) その他

(質疑応答なし)